

2018年6月
1141号

百葉

Manyoh

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5
(一冊の会研究室)

相馬雪香先生の精神＝心の力を後世へ ～日本とフィリピンをつなぐ2人のお孫さんの邂逅～

梅雨入りはしたものの、太陽が木々を照らし憲政記念館前庭の緑が輝く暑い日となった6月24日、尾崎行雄記念財団応接室にて第53期第8回櫻華塾を開催いたしました。

なんと FAWA (Federation of Asia-Pacific Women's Associations アジア太平洋女性連盟) フィリピンのオルテガ会長のお孫さんであるジカさんが櫻華塾にいらしてくださいました。ジカさんは日本に留学されており、ご友人のジェビーさんと共にフィリピンの国や文化、歴史を紹介して下さいました。ジカさんへ歓迎のスピーチをされたのは大槻会長のお孫さんの健一さん。当初は、FAWAに参加したご経験もある姉の由美さんがお迎えする予定でしたが、急遽の海外出張のため、弟の健一さんが代役を務めました。



ジカさんと健一さん

一冊の会 FAWA 事務局長の三坂さんが、FAWA のこれまでの歴史を紹介。一冊の会 永久最高顧問の相馬雪香先生が1950年にスイスで開催された国際会議に出席した際、フィリピンの上院議員ペクソン女史と出会った事がきっかけで始まった FAWA。各国・地域で、FAWA 国際会議をおよそ2年ごとに持ち回りで開催しており、一冊の会は2007年の日本多摩大会から参加をしております。今年は設立60周年の節目であり、9月に原点の地であるフィリピンで総会が開催されます。成功を皆で誓いました。

平間研究員が書道で大変名誉のある「中国大使館賞」を受賞

平間研究員が「中国大使館賞」を受賞されたことの報告をいたしました。この書は7月11日に釜石市に寄贈予定です。



復興祈念樹～南相馬市全国植樹祭・来月釜石市にも植樹予定

小山副会長が、昨年9月に南相馬市に植樹した復興祈念樹「雪香プロスパーポローニヤ」は元気に育っていたことを皆に報告してくださいました。その場所から数 Km の距離にある海岸防災林整備地を大会会場として、今月10日第69回全国植樹祭が開催されました。天皇皇后両陛下は6月9日から11日にかけて福島県を視察され、植樹祭にご出席されました。一冊の会で支援継続している、津波で息子さんを亡くされた阿部洋子さんは天皇皇后両陛下からお言葉をかけていただいたとのこと。テレビや新聞で何回も報道されました。

故相馬雪香先生にちなんだ名前を冠した「雪香プロスパーポローニヤ」はたいへん成長が早い桐で、復興が早く進むようにとの願いを込め、東日本大震災での津波の被災地全ての市町村に植樹することを目指しております。今後も東日本大震災被災地の復興を祈念し、沿岸地域への植樹を進めてまいります。早速、来月7月11日に釜石市に植樹いたします。釜石市は、来年日本で開催されるラグビーW杯の開催都市の1つとなっており、ラグビーで盛り上がる予定とのこと。高台に移転した小・中学校のグラウンドに植樹をすることです。被災地各地、ハード面の復興は整ってきましたがソフト面はまだまです。今後も引き続き復興祈念樹の植樹を進めていきましょう！

人権・平和と一冊の会の歩みを振り返って

大槻会長から FAWA について、国連の歩み、「世界海の日」について、「沖縄慰霊の日」について、「ガーナ共和国で野口英世が亡くなって 90 年」……等々、様々なお話がありました。一部をご紹介します。

国際会議で相馬先生とペクソン女史がたまたま隣同士の席になったことは偶然でした。その頃——私の若い頃は、民法上では、結婚した女性というのは夫にかしづく女だった！外出は夫の許可を得ないとできなかった。

5 月末に「政治分野における男女共同参画推進法」が可決したことはすごいことです。『1946.4.10. 初の婦人参政権行使と日本女性自立への出発』^{たひだち}通称“ブルーの本”の 19 ページに山下泰子先生がクオータ制について書いています。皆さん、このページを読んで何をしましたか？どう行動を起こしたかが大事です。法律を決めるのは国会です。多数決で決めると、人数が多い男性の意見が強くなります。一昨年亡くなった林弘子先生は、学術会議で東京に来る際に連絡があり、ちょっとした時間でも「人を集めて。話をするから！」という熱意の人でした。それが月 2 回くらい、3 人 4 人でも啓発活動を共にしてくださいました。法案が通った祝賀会で、山下泰子先生が「一冊の会は 20 年間の実績があるから」とおっしゃってくださったそうです。一冊の会が何をしたか？と必ず問われます。“ブルーの本”を見て 1 人 1 人やっていますと答えております。一冊の会ではフェイスブックなどで発信をしています。今回、法案が成立しましたが、まだ政治分野でのことだけです。日本は進んでいると言いたいところですが、女性の社会進出という点では遅れています。世の中のことが肌で分かなければ話だけきいてもどうしようもありません。行動していきましょう！

相馬雪香先生の精神＝心の力を後世へ

最期に石田理事長が今日の総括として「相馬雪香とペクソン女史との絆から 60 年余の時を経て、ジカさんと、健一さん——FAWA フィリピン総会会長と今後の FAWA 総会候補地である東京の会長のお孫さんが、新たな絆を結びました。人と人の絆を結ぶのは常に真心であり、心なのです。」と語られ、皆でジカさんと健一さんに拍手をいたしました。

相馬先生が御逝去された翌年、石田理事長は『平和活動家・相馬雪香さんの 50 の言葉』を出版しました。そして東日本大震災後、家族の絆、地域の絆の大切さを痛感し、共同体の在り方、人と人を繋ぐ絆の大切さを身に染みて感じた時、相馬先生に常に感じていた心の力を後世に伝えたいと『心の力』を出版されました。

<相馬先生の心の力>

- 本気で正面から向き合う、批判的精神を持って信念を磨く、言葉と行動に溢れ出る「本気の心」
- 自分のことと同じように他の人を大事と思い、他者に心を寄せ合う「利他の心」
- 困っている時はお互い様、相手を尊重し、信頼関係を強化する「純粋な心」
- 常に感謝する気持ちが人を動かす、一緒に頑張ろうと言える「感謝の心」

相馬先生が御逝去されて 10 年になります。「人を変えたければまず自分が変わる」と常々仰っていた相馬先生は、まさにリーダーとして戦後の激動の日本だけでなく、国際社会を率いて下さいました。そのリーダーシップは大槻会長にも継承され、常に日本の為に、世界の為に、平和な社会の為に、会長自らがまず行動を起こして、真心から被災者や発展途上国の子供たちや、社会的弱者と向き合っていく。心が人を繋ぎ、53 年も持続した活動をしているのです。そしてリーダーとして常に一番に行動することで、若手メンバーに新たな道を切り拓いて下さっています。

今年の 9 月のフィリピンでの FAWA 総会、また東北の被災地石巻での祈念植樹等、私たちが行動出来ること、使命感を持ってやらないといけないことが、まだまだたくさんあります。

「心の力」＝相馬先生の精神を今後一冊の会の活動で一人ひとりが活かし、心の力で溢れた真の平和で平等な社会を築いて参りましょう！



文責：赤田研究員 城杉研究員